



尚綱

「錦にしきを衣ぎて綱けいを尚くわふ」



尚綱大学短期大学部

総合生活学科

食物栄養学科

幼児教育学科

【建学の精神】

「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」

本学年は、明治21（1888）年に創設された済々黌附属女学校をその源としており、同校創設に際して創立者の佐々友房らが遺した「済々黌附属女学校創立ノ主旨」の中には、女子教育の必要性、女子教育の理念などについて縷々述べてあり、その中から建学の精神を表す箇所について要約したものです。

【教育理念】

「尚綱 表面を飾らず内面の充実に努める」

本学園は、校名である「尚綱」の二字に凝縮された言葉をもって教育の理念の姿とし、本学園の教育理念としています。「尚綱」とは、中国の古典『中庸』の一節、「衣錦尚綱にしき き けい」（錦にしきを衣ぎて綱くわを尚くわふ）、すなわち、錦を着た場合はその上から薄物をかけ、きらびやかな模様を表に出さないようにするという君子の道のあり方を説いた句に由来しています。この句には、表面を飾らず内面の充実に努めるという、人としての心構え、あり方が含意されています。



会員の皆様へのご挨拶

尚綱大学短期大学部同窓会

会長 沼垣（中道） 邦子

熊本女子短期大学 家政科

昭和44年卒（第16回生）

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃から同窓会活動にご協力、ご支援をいただき感謝申し上げます。

このたび、令和6年度総会の役員改選におきまして、森下ひろ子様の後を引継ぎ会長に就任いたしました、沼垣邦子と申します。私は、家政科を昭和44年3月に卒業後、熊本県職員として農業・農家生活の改善等に38年間勤務してまいりました。これまで、長い間仕事中心の生活をしておりましたので、同窓会の活動は会誌「花さくら」から得るのみでした。しかし、この度ご縁があり、同窓会のお世話をさせて頂くことになりました。

歴代会長が築かれた功績を引継ぎ、同窓会の目的である、学校の発展と会員相互の親睦が図れるよう務めてまいる所存です。不慣れなところも多々ありますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

当、短期大学は昭和29年の第一回卒業生から数えて同窓生は、29000人近くになります。このような卒業生のみなさんは、地域社会の様々な分野で活躍されており、同窓生として大変誇りに思っております。

令和6年3月には同窓会入会式を開催し、234人の卒業生を

新会員としてお迎えすることが出来、大変嬉しく思っております。学校とは、交流・協力を図り、学生会への支援等も行なっております。

同窓会の活動も、若い会員さん等に関心を持ってもらえるよう、ホームページの内容を日々更新し、情報豊富なものにしていくと考えております。

また、会誌「花さくら」は、同窓会や学校の動きなどを記載し、会員の皆様とつながる唯一の情報源としてお届けしております。同窓生の皆様のご投稿をよろしくお願いいたします。

これまでコロナ禍により、人が集まる行事を自粛してまいりましたが、徐々に活動を再開してきました。昨年11月には、学校との共催で「第9回ホームカミングデイ」を開催し、講演会やキャンプスツアーを楽しんで頂きました。今年も開催予定ですので、この機会に学園を訪ねて頂き、交流が図れることを楽しみにしております。

また、秋には日帰り研修旅行も計画中です。これらの詳細はホームページでお知らせ致しますので、スマートフォンやパソコンからご覧頂き、多数のご参加をお待ち申し上げます。

このような活動は、皆様から頂いた年会費や入学生からの入金などで活動を行っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。





ご挨拶

学校法人尚絅学園

理事長 秋岡 廣宣

尚絅大学短期大学部同窓会の皆様には、日頃より本学園に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。又、昨年5月には同窓会にお招きいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。重ねて御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの落ち着きはみだものの、激動続きの一年であったように思われます。アメリカ合衆国大統領選挙におけるトランプ氏の復活、各国間で続く戦争の拡大、そして自然災害の増加など不安な要素が急激に増えていきます。又、国内においても、気候変動による自然災害の多発化、衆議院選における自民党の大敗、物価の上昇等、これまた変動の激しさが一層増した一年でした。

一方県内に目を移しますと、自然災害による甚大な被害は免れた年でしたが、TSMCなどの進出に起因した交通渋滞の悪化、農地の減少、水汚染の心配など、新しい不安材料がクローズアップされた年でもあったようです。

さて、本学園におきましては、教職員および学生の皆さんの真摯な取り組みと新型コロナウイルスの落ち着きにもない、日常

の学園活動は大きな問題もなく進捗しています。学内の授業、文化活動、スポーツ活動はもちろんですが、海外の学校との交流や留学なども新型コロナウイルス禍前の状態に戻っており、多方面での活動範囲の広がりを期待している所です。

ところで、本学園の第2期中長期計画も2年目となりましたが、皆様ご存じの様な少子化と教育を取り巻く環境の急激な変化で、目標の達成が大変厳しい状況にあります。加えて、毎年5万人の出生者数の減少が続いており、今世紀末には、日本の人口は明治時代40年頃の6千万人になるとさえ言われています。

そういう中で、本学園もこの荒波は避けては通ることはできませんし、何としてもこれ乗り越えていかなければなりません。これまでになかったような発想の転換、新しい事への挑戦などを模索しながら、この難局に向かい合いたいと思っておりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが尚絅大学短期大学部同窓会の益々のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。





ご挨拶

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

学長 山縣 ゆり子

尚綱大学短期大学部同窓会会員の皆様には日頃より本学の教育・研究に格別のご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。本年度のホームカミングデイ（第9回）も昨年に続き、短大・大学同窓会のご協力のもと、2024年11月24日（日）に開催し、同窓会のご尽力のおかげで多くの卒業生にご参加いただき、盛会裏に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。この報告につきましては、本会誌の「短大だより」の中に掲載されていますので、ご覧いただきましたら幸いです。次年度もさらに多くの卒業生のご参加をお待ちしております。

また、2025年4月以降の入学生に給付型の「二世代・三世代入学奨学金」制度を新設しました。お母様、お祖母様のいずれかが本学（短大・大学）の卒業生の場合、新入生に奨学金を給付します。お子様、お孫様のご入学をお待ちしております。

さて、新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザと同等の5類となり3年近くが過ぎ、コロナ後の新しい時代がまさに到来という出来事の1つに、2024年のノーベル物理学賞が、目まぐるしく発展を遂げるAIの基本技術である「ニューラルネットワーク研究」に、化学賞がAIによる「人工タンパク質の設計」と「タンパク質の3次元構造予測」に与えられたという話題があります。化学賞の研究は、70年も前から、のべ6万の研究者が地道に実験

的に決定した22万以上のタンパク質の3次元構造データの蓄積があったから可能となったという事実を忘れることはできません。近年、18歳人口の減少や学生ニーズの多様化等の影響で、全国的に女子大や短大離れがみられ、本学も例外ではありません。2023年度からスタートした「第2期中長期計画」（2023～2032年度）では、選ばれる大学を教職協働で実現するため、目標とその評価指標を達成のための活動計画を策定し、現在、2024年度事業計画を実施しております。一人でも多くの志願者、そして入学者を増やすべく、本学の教育・研究の成果を広く発信し、魅力を伝えております。

ご存知のように、2023年4月、保育士資格のほか、幼稚園教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状が取得可能で、保育現場をリードする高い専門性と実践力を備えた人材を養成する4年制の「こども教育学部」を開設しました。これで本学は、短期大学部の3学科に加え、大学にも3学部が揃いましたので、本学を設置する尚綱学園の建学の精神である「智と徳を兼ね備え、社会に貢献し得る女性の育成」にむけて益々精進しております。

大学のホームページには、後輩たちの授業で特色のある学び、地域貢献や交流活動などの様子を掲載し、日々更新しておりますので、ぜひご覧いただき、先輩としてご意見、励ましをいただければ幸いです。

最後になりましたが、尚綱大学短期大学部同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。



尚綱大学短期大学部同窓会沿革

尚綱学園同窓会「花桜会」の中に、昭和29年第1回短大卒業生から入会し属していましたが、当時の花桜会会長の永井喜登先生から「短大も部会をつくっては！」と言われ、その当時短大に勤務されていた家政科1回卒の多久先生が立ち上げられ、初代の会長になられたのが始まりです。

初代会長 1967年(S42年) 多久 慶子(家政科1回卒)

2代 1973年(S48年) 本多 久子(家政科1回卒)

〔会誌〕創刊号 1979年(S54年)

〔会誌〕2号 1981年(S56年)

〕

〔会誌〕12号 1999年(H11年3月)



多久 慶子

3代 1999年(H11年) 多久 慶子

短大同窓会名簿「銘桜」刊行

1999年(H11年11月)

〔会誌〕13号 2001年(H13年3月)

〕

〔会誌〕15号 2005年(H17年3月)



本多 久子

4代 2005年(H17年) 下川富士子(家政科4回卒)

会誌「花さくら」16号 2006年(H18年3月)

〕

会誌「花さくら」20号 2010年(H22年3月)



下川富士子

5代 2010年(H22年) 寺崎 邦子(食物科1回卒)

会誌「花さくら」21号 2011年(H23年)

(H24年)短期大学創立60周年記念

同窓会祝賀会開催

(H25年)学園創立125年に

「ホームカミングデイ」第1回～第5回

〕

会誌「花さくら」27号 2017年(H29年3月)



寺崎 邦子

6代 2017年(H29年) 森下ひろ子(幼児教育科5回卒)

会誌「花さくら」28号 2018年(H30年3月)

「ホームカミングデイ」第6回～第8回

〕

会誌「花さくら」34号 2024年(R6年3月)



森下ひろ子

7代 2024年(R6年) 沼垣 邦子(家政科16回卒)

会誌「花さくら」35号 2025年(R7年3月)

「ホームカミングデイ」第9回



沼垣 邦子

2024(R6)年 同窓会活動内容

- 4月1日 定例会
 - ・新旧役員顔合せ
 - ・同窓会入会式の反省
 - ・会計報告
 - ・総会について
- 5月13日 **総会**
- 6月3日 定例会
 - ・総会の反省
 - ・研修旅行について
- 7月1日 定例会
 - ・R7年の総会について
 - ・サマーセミナーについて
- 9月2日 定例会
 - ・ホームカミングデイについて
 - ・研修旅行について
 - ・ホームページ
 - ・会誌原稿依頼
- 21日(日) 一日研修旅行
- 10月7日 定例会
 - ・研修旅行反省
 - ・ホームカミングデイについて
- 5日(土)) 公開講座参加
12日(土)) テーマ
19日(土)) 「38億年の命」
ー多世代で新しい時代を生きるー
- 11月11日 定例会
 - ・ホームカミングデイについて
- 24日(日) ホームカミングデイ
九品寺……家政科、食物科
武蔵ヶ丘……幼児教育科
- 12月2日 定例会
 - ・ホームカミングデイの反省
- 1月6日 定例会
 - ・年間行事、新年会
 - ・同窓会入会式について
 - ・会計報告
- 2月3日 定例会
- 3月3日 定例会
 - ・同窓会入会式

2025(R7)年 活動計画

- ◇ 毎月の第一月曜日
……定例会
- ◇ 6月6日(金)
……総会
受付 11:00
KKR ホテル 1階
- ◇ 10月
……研修旅行
……公開講座
- ◇ 11月
……ホームカミングデイ
- ◇ 3月
……卒業生同窓会
入会式

総会、研修旅行
ホームカミングデイ
への同窓会員皆様へ
ご参加とご連絡を
お待ちしております！
詳しくはホームページ
をご覧ください。



総 会

令和6年5月13日、令和6年度総会が、尚綱学舎にて開催されました。10時30分に開始、橘薫様を議長に選出し、式次第に沿い、粛々と進めら、令和5年度の活動報告、会計報告があり、承認されました。

大きな議題として、会長の交替がありました。

平成29年より永年ご尽力頂いた幼児教育科（5回生）森下ひろ子様から、家政科（16回生）沼垣邦子様を引き継がれました。

新役員による令和6年度活動計画案、予算案の説明があり質疑応答後

承認されました。11時より、秋岡廣宣尚

綱学園理事長、山縣ゆり子尚綱大学・尚

綱大学短期大学部学長をお招きし、講演

会が開催されました。経歴にまつわる話

など、興味深く笑いを誘う話も盛り沢山

であつという間に時間が過ぎました。尚

綱学舎（元の第一学寮跡）という空間で

とても距離が近く、より人となりを知る

事が出来たように感じました。少子化に

よる学生数の減少等、深刻な課題も話題

にあり、今後の学校同窓会のあり方な

ど考えさせられました。

（荒牧 裕子 記）



同窓会入会式

〈九品寺キャンパス〉

令和6年3月15日、午後1時より、短大部同窓会の入会式を挙行しました。九品寺キャンパスの総合生活学科48名。食物栄養学科54名の新卒業生の皆さんの同窓会入会でした。

森千鶴子副会長の祝詞に続き、記念品の会誌と帛紗の贈呈式を終え、各科の代表の入会の詞を頂き、式を終了しました。同窓会の将来を託し、又社会貢献を願いながら、役員一同臨席させて頂きました。

(橘 薫 記)



〈武蔵ヶ丘キャンパス〉

コロナ禍で途絶えていた同窓会入会式でしたが、久しぶりに学生さん達とお会いすることができました。

学科長からの挨拶、クラス役員からの授与、同窓会からの記念品帛紗の贈呈式などがありました。幼児教育科卒業である森下ひろ子同窓会会長からは「同窓会に入会されたことを大変うれしく思います。同窓会役員も高齢になってきています。どうぞ若い力をお借し下さい。」等の挨拶があり、みなさん静かに聞かれ、入会式を終わりました。

式の準備など、学校側から手助けもあり、会がスムーズに行われたことを感謝します。
(矢島 美穂 記)



クラス役員会・会誌発送

令和6年3月17日久しぶりにクラス役員会開催となりました。
森下ひろ子同窓会会長挨拶後、会誌第34号の発送作業を行いました。

部会室隣りの教室で会誌、挨拶文等を二人一組の流れ作業で封筒にセットします。先輩方は慣れない作業の中でも会話が弾み、かえって先輩方のパワフルさに圧倒され通しの楽しいひと時でした。

今回は、いつもの発送手順と異なり郵便番号順に封入、最終のコンテナ入れも同様となり、かなり神経を使いました。それでもなんとか約3時間くらいで作業終了となり、ホッとしました。

今回もたくさんさんのクラス役員、同窓会役員の方々のお陰で無事に発送の作業完了。お手伝い頂きありがとうございました。

私自身も4年前に久しぶりにクラス役員会に出席し会誌発送作業をお手伝いしました。それまでは当たり前のように会誌が届いていましたが、先輩方の苦勞があつて届いていたと反省させられました。今後も会誌発送が続けられるようにお手伝いしていきたいと思えます。

(原田 明美 記)



一日研修旅行

秋の一日旅行に想いも重ねて…

幼児教育科5回生

小田 芳子

9月も中旬を過ぎて尚まだ暑い中、秋の一日旅行と書いて良かったかなあ?と思しながら、9月21日先ず国宝の「通潤橋」(山都町)に行きました。昼から放水もあるとのことでしたが、ツアーは先があるので、観ることはできませんでした。しかし国宝に認定されたことが功をなしてか、若い人も多く、その光景は、石橋の建築に携わった先人たちも「俺達がつくったんだぞおー。」嬉しく思っていることでしょう。とは私の勝手な想いです。およそ170年前(江戸末期)に水不足解消(農業用水)に建設されましたが、当時にして、その頭脳明晰と共に石橋アーチの変わらぬ雄大な佇まいに、改めて感服しました。

次にバスでの移動、進むにつれ車窓からは右も左も、より緑多し。およそ1時間位で神話の里(宮崎の高千穂)に着きました。駐車場から食事処までは、



心臓破りの坂とも言える位の坂をハアハア言いながら登り着いたら、150年は経ったであろう建物。折々には神楽もこの場で行われてるとのこととは見てすぐ判りました。その広間の中には、沢山の方々が食事されていたのに、はびっくりでしたが、その



は葉っぱ一枚も落ちてないと言っても過言ではない程きれいで、葉っぱは両側に掃き寄せてありました。来客への心遣いと全てを含めての素晴らしい景観から見える雄大な渓谷は暑さが吹っ飛ばような爽快感が

御膳はこの場に相応しい造りで美味しかったです。これが余談ですが、食事中に盛り上がったのが、「先日熊本人はスイカの皮を食べてるとTV放映があったよね。」と我々のグループは「昭和時代はそうだったね。父も母も好きだったよね」「でも今の皮は薄いし平成、令和は食べないのでは?」と言いました…。まあ宮崎で熊本のたわいもない話題で賑わった楽しい食事時間が終わると、いよいよ「高千穂峽」散策。階段





ありまし
た。

最後に
「天岩戸
神社」へ
参拝、駐
車場から
の道は整
備されて

いましたし、パワースポットということですが、参拝者も老若男女、多かったです。

私は、一週間前に車を買って替えたばかりだったので、交通安全のお守りを購入しました。一つ気付いたのですが、各家庭（家）のしめ飾りが今も玄関に飾られています。ことです。やはり神が宿る古里ですね。一年間飾った後神社に納めるそうです。能面も飾られていてどの家も古くなっていましたが、長年飾られているのでしょう。守り神として…。神秘的癒やしの場所の旅でした。何万年の時を経ての今ですが…。

そんな想いに耽る自分がいますが、丁

度この日は能登豪雨が起き、能登地震からの復興途中の再びの自然災害、家に帰り着いたらそのニュース…。リアルな現状でしたが、私たちも熊本地震を経験し、やっと平穏な日々が送れるようになりました。能登もいつの日か、人々の生活の安定と、美しい景色が見れる日を願っています。一緒に旅した同窓生はみんな元気でした。これからも長生きしましょう！また逢う日を楽しみにしています…。

旅行を企画された関係者の皆さんと格安料金で連れて行って下さった熊本電鉄さんにお礼申し上げます。



同窓会から助成金（1万円）

参加者8名以上の集まりには同窓会から助成いたします。

日時と場所、感想をそえて写真もお願いします。

事務局までご連絡下さい。

ホームカミングデー

九品寺キャンパス

令和6年11月24日、第9回ホームカミングデーが開催されました。

吹く風が冷たくなり、秋の深まりを感じながら受付を始め、今年60才還暦同窓会の方々を中心に、同窓生の皆様が笑顔でお見えになりました。

まず1号館10階ホールにて、卒業生で料理研究家、あいとう はるひ相藤春陽さんが「食とのかかわり方」の演題で講演をされました。

管理栄養士として学んだ事を、家庭に伝える事や、旬の料理の美味しさ、熊本の食材の美味しさを伝えたいと食文化を発信されており、パワフルに活動されていました。食と一言ですが、食べる事、行政、観光、飲食店などの様々な繋がりを再認識しました。

講演会の後、同窓生の皆様と尚綱学舎へ移動し、食事をしながら「40年ぶりですね！」と懐かしく交流されました。話も尽きないなか、新しくなったキャンパスの見学ツアーに参加されました。
次回のホームカミングデーも、多くの皆様のご参加を楽しみにしております。

(金澤 恵子 記)



講師 相藤 春陽



ホームカミングデーはどなたでも参加できます。
ぜひお友達を誘ってご参加ください。
連絡をお待ちしています。

同窓生感想

今回初めて、新校舎の内部を見学させていだいて、びっくりするやら、昔のことをいろいろ思い浮かべたりと、有意義な一日でした。

《藤本(宮本) 輝美》

還暦同窓会、人数は少なかったのですが久しぶりの大学でとても懐かしかったです。昔話に思わず大学生に戻った様でした。楽しかったです。ありがとうございます。

《竹内(西田) 朋加》

半世紀ぶりに参加してあまりの変わり様に時代の変化を感じました。とても楽しかったです。

《上田仁子》

今日はとても懐かしい気持ちになりました。数十年ぶりに見た建物はとても立派でビックリしました。懐かしい友達にも会えてうれしかったです。ありがとうございます。

《森田(西村) まり子》

同窓会よりご案内のがきをいただき、参加しました卒業以来はじめてで、ほぼ変わっていて驚きました。このような機会をいただき、ありがとうございます。

《成瀬広美》

久しぶりの学園訪問で懐かしい気持ちになりました。学園内の建物も変わり、私達が受けた教育より、更に高度な内容を今の学生達が受けられていることを、卒業生ながら誇らしく感じました。機会がありましたら又、是非、訪問させて頂きたいと思えます。本日は、有難うございました。

《野田(永田) 恭子》

卒業後、四十年ぶりに母校を訪問しました。懐かしい友と会えてとても嬉しいひと時でした。校舎はほぼ新しくかわり、おもかげはあまりありませんが、文化祭と重なり学生のざわざわは懐かしく感じました。来て良かったです。ありがとうございます。

《寺岡(津田) 珠代》

ホームカミングデイ

武蔵ヶ丘キャンパス

ホームカミングデイ武蔵ヶ丘キャンパスでは、学校側に協力していただきました。平和御夫妻ひらわによる歌とピアノ伴奏のコンサートで午前の部が始まりました。音楽室に準備していた椅子は、ほぼ満席に。平和孝嗣先生の歌声、平和充子先生のピアノ伴奏の音色に魅了された時間を過ごしました。その後は昨年同様キャンパスツアーで新しく出来た校舎を担当の先生に案内して頂き、自分たちが過ごした校舎との違いに「今の学生さんは羨ましいね。」という様な声も聞こえてきました。キャンパスツアーの後はお楽しみの食事会。お弁当を食べながらおしゃべりタイム。とても賑やかな時間が過ぎました。参加者の皆様の近況報告もあり、まだまだ現役で仕事をされている方も多く皆さん生き生きとされていました。そして最後に参加者の皆様から「この様な会を催して下さいあってありがとうございます。」との言葉を頂き、頑張った準備をしたかいかがあったと思つた一日でした。

(穴井 雅子 記)



ホームカミングデイはどなたでも参加できます。
ぜひお友達を誘ってご参加ください。
連絡をお待ちしています。

同窓生感想

第一六期生 木下 真理子

四十年ぶりに母校を訪問しました。同窓会も初参加です。ピアノと歌声とても素晴らしいので、感動しました。人も環境もまわり以前より学びやすくなった感じが思いました。もっと協力がなされることを願っています。今日は皆さうたまで、ありがとうございました。

本日は、お誘い頂きありがとうございます。卒業以来初めてお会いする事が出来、嬉しくおもいました。皆さん同じ様に年を重ねて、安心しました。古賀なるみ (旧姓梅田)

久しぶりに級友に会えてとてもうれしかったです。このような機会を作っていたら、あの頃のように、お弁当、お茶など、おしゃべりしていました。

諏訪原 さち子

本日はありがとうございました。平和ご夫妻の心温まる演奏と歌声、同窓生の方々のお世話に感謝いたします。また来させていただけます。

飯開子春

卒業して以来、久しぶりの短大での懐かし、当時を思い出しました。平和先生のうたとピアノも素敵で、いい時間を過ごすことができました。

17回生 柏野まゆみ

久しぶりに短大時代の友達と大学内を歩いて、とても気分が爽快になりました。又、先輩方にも会えて、懐かしい学生時代に戻ったような気持ちになりました。

17回生 坂本由美子

久しぶりになつかしい友達に会えてとても嬉しく思いました。平和先生のコンサートがとてもステキで、とても良い時間をすごすことができました。ありがとうございます。

60年卒(幼稚16回卒) 池田菜穂子

久しぶりに平和先生のピアノを聴くことができて、とても幸せな時間を過ごすことができました。皆様の元氣なお顔もみるのができ、ありがとうございます。

(16回生) 田中倫子

久しぶりに、なつかしいお顔を拝見して、とても楽しい日々を過ごさせて頂き、ありがとうございました。色々とお話できて、日常から少しだけ、現実逃避できて嬉しかったです。

山田多恵子(野口) (160卒業) (160卒業)

心温まる おもてなし
ありがとうございます
楽しいひとときを
過ごすことができました。

野口 寿子

40年ぶりの母校で、とてもなつかしい
時間をすごすことができました。
又、心のこもったおもてなしありがとうございました。
ございました。

金田 俊子

久しぶりに学園を訪れることができ、
また、平和先生の素敵なお話を伺い、
本当に楽しい時間を過ごすことができました。
旧友との話も昔に比べて楽しかったです。
お世話になってきたことに改めて感謝
ありがとうございます。

下田 和代 (旧姓)

昭和60年
1月16日

40年ぶりの学び舎、とても懐しく
2年肉付いたあの坂道も思い出が
甦りました。こういう機会を頂きありがとうございます。
ございました。

青木 幸子 (旧姓 御船)

一人で参加したのでちょっと心細かったのですが
素敵な音楽会なつかしい校舎、おいしい食事
もりだくさんの内容でそのうちまわりの方も
知り合えたことがわかり楽しい時間を
すごすことができました。改めて良かったです。
ありがとうございました。

杉本 佳代子

心温まる おもてなし
ありがとうございます。

久ぶりの校内、とても
なつかしく思いました。
もとたくさんの同窓生に
お会いしたかったです。

進藤 悦子
(旧姓 藤津)

楽しい時間になりました。
ありがとうございます。
尚飼を卒業して、良かったと
いつもに誇りを感じました。

中尾 明美 (旧姓 菅)

とてもステキな音楽に癒されました。
楽しい時間を
ありがとうございました。

青柳 葉子

今日はステキなコンサートを
ありがとうございました。
懐しい友達に逢えて嬉しかった
です。
企画をありがとうございました。

早田 久子

同窓会へ御礼の手紙

同窓会へ御寄付頂いた御礼に差し上げた

「刺し子作品集」 下川富士子著への御礼の手紙

高田（朝井）晶子さん 鎌倉市在住
（家政科昭和33年卒5回生）からのお手紙

拝啓

立秋も過ぎたというのに未だ猛暑の日々、その後如何がお過ごしでいらつしやいましょうか。お伺い致します。

さて過日は思いがけなく下川様珠玉の「刺し子作品集」を御恵贈頂きありがとうございます。ひと針ひと針に込められた作品の数々に感動いたしました。

しばらく手元にてページをめくり心豊かな思いにひたりましたが、一人占めにするのは勿体ないと、この度NPO法人鎌倉リサイクル推進会議に故事来歴を説明し、寄贈いたしました。同会の発足には私も深く関わり初代代表も務めました。

「公設民営」型で1997年開設の笛田リサイクルセンターで市民が企画運営をしています。

早いもので四半世紀経過。教室の企画にも「刺し子」もあり、下川様の作品の数々がきつとお役にたつことでしょう。

私も米寿を過ぎたものの、ささやかながらまだ会員の皆様に助けられながら鎌倉の環境美化活動を続けています。

人生百年時代といわれるものの、健康で生きながらえる



ことは至難の技、与えられた命一日一日大事に生きようと思うこの頃です。

同窓会役員の皆様の御健勝を心からお祈りいたします。

お礼状が延引いたしましたことを心からお詫びいたします。

令和6年8月



▼作品集 表紙



作品集をご希望の方は同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

寄稿

半世紀の絆『マンクラ会』

家政科16回生

北島（佐々木）実子

私たちは熊本女子短期大学を昭和44年に卒業したマンドリンクラブ各地に在住の有志14名の仲間たちです。いわゆる団塊の世代です。世の中では学生運動が活発で、卒業アル



バムはモノクロ写真の時代でした。

当時のクラブは学生会の部活援助協力費を受け2台目のペー

スを購入し、やつと楽器が揃った状態でした。放課後



となり成功裏に終えました。

短大の2年間の短い期間でしたが、苦労を共にした仲間とは離れ難く「マンクラ会」と称し、後期高齢者の現在まで55年間も心の寄りどころとして結ばれています。

「マンクラ会」では、ファミリー参加で22人が集まったえびの高原を皮切りに、3年毎に旅行を企画、九州から中国・四国、阪神、関東と10数県に渡っています。

企画は常に協議をして、幹事を順番に担当、自分たちで考えた旅行は個人的でみな大成功でした。神戸、USJ、ディズニーランド、箱根、還暦祝の豪華京都旅、古希祝の由布院温泉などを堪能しました。この度は、久々の

は時間の許す限り練習を重ね、短大では初の『有料コンサート』を市内のホールで開催できました。マンドリンの経験者は皆無、初挑戦でしたが、講師と音楽に長けた仲間が指揮者

企画で世界中を震撼させたコロナからの生還と、熊本地震からの復興を見届け、久々に出会いの原点である母校を訪問しました。熊

本城修復を身近で感じ喜びを分かち合いました。宿泊先では、努力の結晶である有料コンサートの録音を5年ぶりに仲間と聴き、青春の響きが甦り胸が熱くなりました。

仲間の合言葉は「次は喜寿だね。傘寿、米寿みんなで元気で長生きしましょう！」でした。これだけ永く続けられたことも、家族の協力、理解があつたお陰です。半世紀を経て短大の2年間は、豊かな人生を築く道標となつたことを再確認し、深く感謝しました。

「マンクラ会」は友情の証であり誇りです。



食物栄養科を出て55年

食物栄養科1回生

小嶋（松本） 博子



大江町九品寺の校舎に通った二年間。

一学年56名の少人数の食物栄養科での学校生活は先生方との距離が近く、忙しい二年間でした。私は短大で何を学んだかといえはあまり熱心な学生ではありませんでした。

埼玉狭山に結婚と共に住み、子育てが一段落したあと狭山保健センターの在宅栄養士として登録して乳幼児や、成人の栄養相談や料理教室などを60才までパートとして働いていました。その後同じ栄養士仲間と各公民館での健康料理教室及び講習会や狭山茶を使った煎茶料理の提供等。「美味しく食べて健康に」という思いで料理教室を開いてきました。

いろいろなお仕事を出来たことは食物科で学んだことが支えになつていふように思います。時折、学生時代の実験のおもしろさや勉強が大変だったことなど思い出し懐かしく感じます。75才になつた今でも公民館でのシニア料理教室や保育所などの食育活動に講師として呼んでいただいております。

あと何年続けられるかわかりませんが好きな栄養士の道が続けたいと思っております。

食物栄養科の後輩の方々へ、折角、栄養士としての免許を得たのですから是非それを生かせる様な仕事をしてほしいと願っております。

こんだて
20

●主食 フレンチトースト入りサラダ
●副菜 キノコのスープ

ワンプレートで主食・副菜がそろって一品です！

体がよるこぶレシピ集の

フレンチトースト入りサラダ

【作り方】 4人分

<フレンチトースト>

- 食パン4枚切り……………3枚
- 卵液（卵2個、塩・こしょう、牛乳300ml）
- 粉チーズ……………大さじ3
- バター……………10g

<サラダ>

- サニーレタス、ブロッコリー…適量
- ベーコン……………30g（2cm幅に切る）
- ポーチドエッグ用卵……………4個

<ドレッシング>

- りんご酢……………大さじ2
- オリーブ油……………大さじ2
- んにく（すりおろす）……1/2かけ
- 塩……………小さじ1/4
- 粗挽き黒こしょう……………少々

【作り方】

- ①フレンチトーストを作る。食パンを12等分に切り、卵液を作り、パンを順番にひたす。
- ②パットに粉チーズを塗り、パンにつける。
- ③フライパンにバターを溶かし、パンを弱火で焼く。
- ④ポーチドエッグを作る。鍋に湯を3リットル沸かし、卵（大さじ2）を入れる。卵で湯のふらふらを作るようにぐるぐるの水気を作り、中央に卵を落とす。お湯により白身がまとまるので、そのまま鍋の中央で2分間で、冷水にとる。
- ⑤湯に野菜、フレンチトースト、こまがり鶏いたベーコンを盛り、真ん中にポーチドエッグをのせる。全体にドレッシングをかける。

キノコのスープ

【作り方】 4人分

- 生しいたげ（薄切り）……………4枚
- しめじ（小房に分ける）……1/2パック
- 玉ねぎ（スライス）……………中1個
- サラダ油……………小さじ2
- 水……………450ml
- 塩・こしょう……………少々

【作り方】

- ①鍋に油をひき、玉ねぎをよく炒める。生しいたげ、しめじも加えて炒める。
- ②水を入れて煮崩させ、塩、こしょうをずる。

卒業生の活動

中川幸子さんの菖蒲園

5月25日、熊本市西区田迎で花菖蒲の鑑賞会が行われていました。一面、菖蒲の花でいっぱいです。

手をかけ世話をされているのは、中川幸子さん。同窓生、家政科11回卒の方です。畑は、幸子さんのお母さんの実家である木村家の庭先で、広さは二反（約2000㎡）程あるとのこと。

毎日、朝7時から夕方5時まで畑の世話をされ、鑑賞会等の時には朝5時から夜の8時まで畑に出、来られた方に切り花を渡したり、説明したりされるとのことでした。畑には草一



ていました。

「いつ頃から菖蒲園をされているんですか？」と、お尋ねすると、戦後、おじいさんが満月会（肥後花菖蒲保存団体）から捨てられた球根を拾って植え、自分で交配して今の菖蒲園を作られた。と、話して下さいました。幸子さんは、50年程前からお母さんの草取りの手伝いをしていた



本なく、奥の方には肥後芍薬もたくさん植えてあり、花が咲く頃はさぞかし美しいことだろうと想像しました。鑑賞会の時には自宅の開放もされ、庭にはたくさん木々があり、涼しい風をつくっ

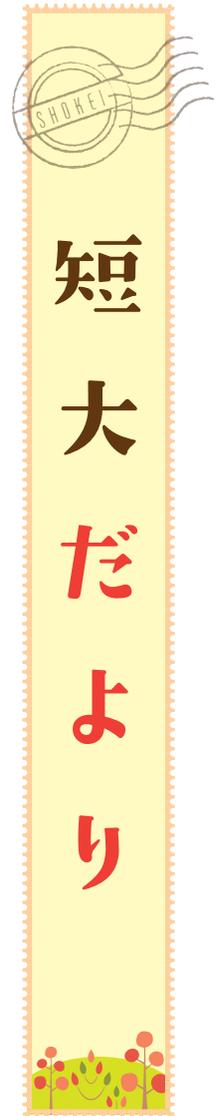
ことが、今まで続いている。「私は、昭和18年生まれ、もう80才、後期高齢者！」と言って笑われました。そのお手伝いをされている方も74才の方で、もう35年間一緒に仕事を



をしていると、にこやかな顔を見せられました。花菖蒲の世話と草取りをする中で、お母さんの介護で大変な時期もあったとのことですが、それでも畑の世話を続けてこられたからこそ、今日の菖蒲園があるのだろうと、畑一面の菖蒲の花を眺め思いました。

（矢島 美穂 記）





短大だより

尚綱大学・尚綱大学短期大学部における令和6年の主な活動状況についてお知らせいたします。

令和6年は、すべての学校行事・イベントをコロナ禍以前と同様に開催・実施してまいりました。特に、学生が自主的・自律的に行うサークル・部活動などの課外活動を通じて、学生が充実した学生生活を送り、大学教育における人間形成を自らの力で行うことを教職員一丸となって推進しております。

尚綱大学短期大学部同窓会の皆様におかれましては、引き続き、学生及び教職員への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●令和5年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部卒業式

3月18日（月）

令和5年度卒業式を熊本県立劇場演劇ホールにおいて挙行し、大学生120名、短期大学生232名、合計352名が大きな夢と希望を抱いて本学園を巣立って行きました。保護者の方々も多数列席され、卒業生の栄えある門出を祝福いた

だきました。式典では、建学の精神を体し、学業成績が優秀で品行方正な卒業生に対して育英褒賞授与も行われ、各学部・学科から推薦された5名の卒業生が受賞しました。卒業生の皆さんの今後の活躍に期待しております。

●令和6年度尚綱大学・尚綱大学短期大学部入学式

4月3日（水）

令和6年度入学式を九品寺キャンパス尚綱アリーナにおいて挙行しました。大学生147名（うち編入生15名）、短期大学生176名の合計338名が保護者や来賓の方々からも祝福を受けて、大学生生活をスタートさせました。山縣学長による式辞の後、短期大学部幼児教育学科1年生の東凜菜（ひがしりんな）さんが希望に満ちた入学生宣誓を行いました。新入生の皆さんが楽しく充実した学生生活を送ることができるよう教職員一同、精一杯支援してまいります。

●令和6年度新入生歓迎行事

4月25日（木）

九品寺・武蔵ヶ丘の両キャンパスにおいて、大学・短期大学合同の新入生歓迎行事を実施しました。

九品寺キャンパスでは尚綱アリーナにおいてドッジボール大会を、武蔵ヶ丘キャンパスでは体育館においてミニ運動会を、学生会が主体となつて行いました。各学科・学年・クラス毎に編成したチームによる白熱した対抗戦に、学生・教職員の大きな声援が送られ、会場全体が大いに盛り上がりました。

新入生同士の親睦が深まつたのはもちろん、学科・学年を超えた学生間のつながりも生まれ、楽しい一日となりました。

●尚綱大学・尚綱大学短期大学部

オープンキャンパス

3月24日（日）、6月22日（土）、7月6日（土）、7月20日（土）、8月4日（日）及び8月25日（日）の計6回、九品寺・武蔵ヶ丘の両キャンパスでオープンキャンパスを開催しました。

参加した高校生やその保護者に対して、学部学科の紹介や体験授業などを行い、尚綱での学びの魅力や面白さが十分伝わった様子でした。在学生も歓迎パフォーマンスやキャンパスツアーなどでボランティア参加し、将来自分たちの後輩となる高校生のため大活躍してくれました。

●大学間単位互換協定締結

大学・短期大学は、地域における教育交流の取組として、東海大学熊本キャンパス及び阿蘇くまもと臨空キャンパスとの間における単位互換に関する協定を令和6年4月1日付で締結しました。

本協定は、両大学の教育資源を有効活用するとともに学生たちに学問分野の違いを超えた幅広い学びの機会を与えることを目的としており、現在、令和7年度の授業開始に向けた準備を行っております。

●「二世・三世代入学奨学金制度」創設

令和7年度以降の大学・短期大学入学生を対象にした独自の奨学金制度として、二世・三世代入学奨学金制度を開始しました。新たな入学奨学金制度は、母又は祖母が尚綱大学・尚綱大学短期大学部（熊本女子短期大学及び尚綱短期大学を含む。）卒業生である新入生に対し、奨学金を給付するものです。大学・短期大学同窓会の協力を得て、卒業生約7,000名にご案内のダイレクトメールを郵送しました。

●第23回尚綱公開講座

10月5日（土）、10月12日（土）、10月19日（土）の3日間にわたり、九品寺キャンパス大学1号館10階ホールにおいて、尚綱大学・尚綱大学短期大学部公開講座を開催しました。

この講座は、地域に開かれた大学を目指して学修の機会を提供し、生涯学習の振興に貢献することを目的としています。今回は、「38億年の命―多世代で新しい時代を生きる―」をメインテーマに9講座を開講しました。多くの受講生の方にご参加いただき、好評のうちに終了しました。

●令和6年度尚綱祭

11月23日（土・祝）、11月24日（日）の両日、九品寺・武蔵ヶ丘キャンパスにおいて、学生会主催による尚綱祭（学園祭）を開催しました。今回は、「Palette（パレット）」をテーマに、ステージ企画や体験・参加型イベントなどの趣向を凝らした催しがあり、好天にも恵まれ、クラスバザー（模擬店）にも随所に長い列ができるなど、多数の一般参加者や卒業生の方などで連日大いに盛り上がりました。

九品寺キャンパスでは、7号館2階において開催した「尚綱コミックイベント」に学内外から多数のコスプレイヤーが参加して、熊本のサブカルチャーの最前線と呼ぶに相応しい賑わいを見せま

した。そのほか、尚綱アリーナでの恒例のミスコンテストや九州出身の若手俳優・井上想良のトークショーなどが注目を集めました。

武蔵ヶ丘キャンパスでは、体育館でのバケラッタ（新聞紙や広告誌などを素材に制作した衣装によるファッションショー）やちびっこランドなどのイベントに小さい子供たちが歓声を上げていました。野外ステージでの「尚綱ガールズコレクション」やお笑いコンビ・インポッシブルによるお笑いライブに楽しい笑い声が起っていました。

尚綱祭に向けての準備・当日運営に携わった学生会を中心とする学生たちにとって、数々の困難を乗り越え、たくさんの方のご来場を得て無事に学園祭を終えたことは、将来の大きな糧になったと思います。

●第9回ホームカミングデイ

11月24日（日）
九品寺・武蔵ヶ丘キャンパスにおいて、尚綱祭の2日目にホームカミングデイを同時開催しました。

九品寺キャンパスでは、尚綱短期大学卒業生で料理研究家の相藤春陽氏による「食のかかわり方」に関する特別講演をはじめ、学科企画の交流会やカフェなど多くの魅力的な催し物に、多くの卒業生やその家族、地域の方々が参加され、懐かしいキャンパスでの楽しい1日を過ごしていただきました。



武蔵ヶ丘キャンパスでは、1号館音楽室での平和孝嗣・充子夫妻によるピアノ伴奏と歌のコンサートに続き、令和6年に還暦を迎えた卒業生の方など恩師や友人と過ごすひと時を心から楽しんでいただいた様子でした。

総合生活学科

医療事務・情報ビジネス、福祉ウェルネス、生活デザインなどを総合的に探求し、確かな実務能力と実践力を身につけます。オリジナルカリキュラムで専門性を深め、ユニット制で学修内容の見える化を図り、あらゆる角度から総合的に学ぶことができます。

取得可能な資格

- 秘書士
- 上級秘書士(メディカル秘書)
- 情報処理士
- レクリエーションインストラクター
- 介護職員初任者研修課程資格
- 社会福祉主事(任用資格)
- 食生活製菓マスター(大学認定)

卒業後の主な進路

- 金融・保険(銀行・生命保険会社など)
- サービス(接客、販売職)
- 百貨店、ホテル、広告出版、ファッション、インテリア
- 行政(一般職) ■福祉施設
- 医療機関(事務職など)
- 大学編入学

食物栄養学科

「食と栄養と健康」をキーワードに、健康づくりの担い手としての思いやりと責任感のある、社会で活躍できる有能な「栄養士」の育成を目指します。管理栄養士養成課程である生活科学部への編入学も可能です。平成28年度からは編入学試験での推薦枠も設けられました。

取得可能な免許・資格

- 栄養士免許(国家資格)
- 食品衛生監視員(任用資格)
- 食品衛生管理者(任用資格)
- フードサイエンティスト
- 社会福祉主事(任用資格)
- 栄養製菓マスター(大学認定)

卒業後の主な進路

- 病院(医療施設など)
- 福祉施設(高齢者施設、保育所など)
- 産業給食施設(事務所、寮など)
- 研究・教育機関(食品会社、大学など)
- 大学編入学

幼児教育学科

保育・教育などの各分野を総合的に学ぶことにより、保育者として子どもを理解するための力を身につけていきます。充実した講義のほか、実践的な演習形式の授業と豊富な実習体験を通して、人間性豊かな保育教諭、幼稚園教諭、保育士を養成します。

取得可能な免許・資格

- 幼稚園教諭二種免許状(国家資格)
- 保育士資格(国家資格)
- ※上記二つの資格を持つことで、認定こども園で保育教諭として働くことができます
- 社会福祉主事(任用資格)

卒業後の主な進路

- 認定こども園
- 幼稚園
- 保育所
- 地域型保育事業、(小規模保育施設、家庭的保育室など)
- 大学編入学・行政(保育所・幼稚園)



令和6年3月卒業生の就職先



総合生活学科		
<p>【農業、林業】 株式会社あつまる山鹿シルク</p> <p>【製造業】 株式会社ハーモ マルキン食品株式会社</p> <p>【情報通信業】 株式会社 SYSKEN</p> <p>【運輸業、郵便業】 株式会社サイ引越センター 日本郵便株式会社</p> <p>【卸売・小売業】 株式会社育星会 株式会社コスモス薬品 株式会社中央コンタクト 株式会社ナルミヤ・インターナショナル 株式会社ハニーズ</p>	<p>株式会社バイブルック セキミキ・グループ株式会社 有限会社赤星薬局</p> <p>【金融業、保険業】 株式会社熊本銀行 明治安田生命保険相互会社</p> <p>【宿泊業、飲食サービス業】 株式会社熊本ホテルキャッスル くまもと新世紀株式会社 ホテル日航熊本</p> <p>【生活関連サービス、娯楽業】 株式会社 F & B シモカワ 「Curves」 ユウベルグループ</p> <p>【医療、福祉】 一般社団法人 soleil 就労継続支援 B 型 咲楽工房 医療法人長嶺南ファミリー歯科</p>	<p>いとり歯科こども歯科クリニック 社会福祉法人令和会 熊本整形外科病院 せんだメディカルクリニック 独立行政法人国立病院機構九州グループ としのり歯科</p> <p>【複合サービス業】 八代森林組合</p> <p>【サービス業(他に分類されないもの)】 株式会社アドルーム 株式会社トライアンフ 株式会社 NECT ハイコムビジネスサポート株式会社</p> <p>【公務(他に分類されないもの)】 自衛隊熊本地方協力本部</p>
食物栄養学科		
<p>【建設業】 株式会社邦拓建設</p> <p>【卸売・小売業】 株式会社アダストリア 株式会社ファーマダイワ (ひまわり薬局)</p> <p>【宿泊業、飲食サービス業】 藍の村観光株式会社 リゾラザバード 株式会社梅の花</p> <p>【教育、学習支援業】 学校法人双羽学園 認定こども園双羽幼稚園 社会福祉法人となかいま研究会 本妙寺こども園 菊陽町役場</p> <p>【医療、福祉】 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター 医療法人回生会 リハビリテーションセンター 熊本回生会病院</p>	<p>医療法人熊愛会 熊本脳神経外科病院 医療法人グリーンヒル ウイメンズクリニックグリーンヒル 医療法人坂梨ハート会 坂梨ハートクリニック 医療法人社団育成会 北くまもと井上産婦人科医院 医療法人社団金森会 金森医院 医療法人城南ヘルスケアグループ くまもと南部広域病院 社会福祉法人川岳福祉会 かわたけ保育園 社会福祉法人健成会 特別養護老人ホーム みゆき園 社会福祉法人白川園 若草児童学園 社会福祉法人天水福祉事業会 社会福祉法人まりあ 社会福祉法人明芳会 特別養護老人ホーム ヴィラ・ながみね 社会福祉法人湧水会 さくらんぼ保育園 特定医療法人佐藤会 弓削病院</p>	<p>独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院</p> <p>リハプライム株式会社 (コンパスウォーク南熊本)</p> <p>【サービス業(他に分類されないもの)】 株式会社 LEOC コンパスグループ・ジャパン株式会社 安田建物管理株式会社 淀川食品株式会社</p>

幼児教育学科

<p>【教育、学習支援業】</p> <p>学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園 大津音楽幼稚園 学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園 亀の子幼稚園 学校法人愛和学苑 幼保連携型認定こども園 西部音楽幼稚園 学校法人開新学園 幼保連携型認定こども園 ながみねこども園 学校法人花陵学園 花陵幼稚園 学校法人熊本音楽学園 武蔵ヶ丘幼稚園 学校法人光寿学園 ルンビニー幼稚園 学校法人尚綱学園 尚綱大学附属こども園 学校法人第一学園 合志こども園 学校法人第一学園 第二幼稚園 学校法人天神学園 幼保連携型認定こども園 くるみ幼稚園 学校法人中九州第二学園 認定こども園 わかくさ幼稚園 学校法人双羽学園 認定こども園双羽幼稚園 学校法人みゆき学園 幼保連携型認定こども園 恵水幼稚園 学校法人和孝学園 ちぐさ幼稚園 社会福祉法人石水会 幼保連携型認定こども園 中原こども園 社会福祉法人上ノ郷福祉会 幼保連携型認定こども園 なないろこども園 社会福祉法人喜育園立 喜育こども園 社会福祉法人敬和会 山鹿こども園 社会福祉法人向真会 幼保連携型認定こども園 千草保育園 社会福祉法人山清福祉会 幼保連携型認定こども園 五丁こども園 社会福祉法人山清福祉会 幼保連携型認定こども園 やまなみ 社会福祉法人清水ヶ丘福祉会 清水ヶ丘こども園 社会福祉法人白富会 幼保連携型認定こども園 木の葉保育園 社会福祉法人真愛福祉会 愛保育園 社会福祉法人高江福祉会 幼保連携型認定こども園 青いほしこども園 社会福祉法人託麻南福祉会 幼保連携型認定こども園 つばめこども園 社会福祉法人まだか会 大津幼稚園 社会福祉法人まだか会 古城保育園 社会福祉法人三澄会 幼保連携型認定こども園 くぼんじこども園 社会福祉法人宮ノ本福祉会 幼保連携型認定こども園 そよかぜこども園</p>	<p>社会福祉法人三山会 幼保連携型認定こども園 青空保育園 社会福祉法人冷水福祉会 田迎こども園 社会福祉法人靖共会 幼保連携型認定こども園 ひでみ保育園 社会福祉法人芳野福祉会 幼保連携型認定こども園 やまぼとこども園 <p>【医療、福祉】</p> <p>一般社団法人クローバー 栗の木保育園 医療法人伸生紀 企業主導型保育事業 コスモピア保育園 学童クラブきくよう NPO 法人子育てサポート 学校法人第一学園 杉並台保育園 株式会社アイグラン アイグラン保育園尾ノ上 株式会社タスク・フォース 東京三軒茶屋園 株式会社タスク・フォース ポポラー熊本水前寺公園 株式会社ティーステップ Switch 嘉島 with T-STEP 株式会社ラディカ そらいろ保育園 ころろ株式会社 おやまひよこ保育園 社会福祉法人愛和学院 元気の森ラビット保育園 社会福祉法人あゆむ あゆむ保育園 社会福祉法人育遊会 網津保育園 社会福祉法人一実会 りんどう保育園 社会福祉法人佳徳会 かえでの森こども園 社会福祉法人菊豊会 菊池第二さくら幼楽園 社会福祉法人菊陽会 もみじ園 社会福祉法人敬愛福祉会 敬愛保育園 社会福祉法人恵寿会 認定こども園みどりの里 社会福祉法人啓世会 天領保育園 社会福祉法人健児福祉会 宇土ありあけ保育園 社会福祉法人ころろ 保育園ころろ 社会福祉法人秋桜会 大津あゆみ園 社会福祉法人慈愛園 熊本ライトハウスのぞみホーム 社会福祉法人慈愛園 ひかり幼児園 社会福祉法人城北会 ぱんだ保育園 社会福祉法人光明童園 社会福祉法人杉水福祉会 杉水保育園 社会福祉法人聖嬰会 児童養護施設 熊本天使園 社会福祉法人善照福祉会 かもと乳児保育園</p> </p>	<p>社会福祉法人大道福祉会 山鹿若葉保育園 社会福祉法人託麻福祉会 こまどり保育園 社会福祉法人託麻寮 はげみや保育園 社会福祉法人たけのこ会 菊池幼楽園 社会福祉法人智恩福祉会 立売堀敬愛保育園 社会福祉法人築添福祉会 パール保育園 社会福祉法人竹葉会 内牧保育園 社会福祉法人地の塩福祉会 こひつじ保育園 社会福祉法人つるまる福祉会 つるまる保育園 社会福祉法人天明福祉会 中緑保育園 社会福祉法人となかいま研究会 あいあい保育園 社会福祉法人日生会 あいな保育園 社会福祉法人野原福祉会 野原保育園 社会福祉法人福愛会 ひがしまち保育園 社会福祉法人福芳会 光の森武蔵ヶ丘保育園 社会福祉法人藤崎台童園 社会福祉法人二見中央福祉会 なかよし保育園 社会福祉法人御幸福社会 リズム幼児園 社会福祉法人睦美福祉会 むつみ保育園 社会福祉法人八代ひかり福祉会 八代ひかり保育園 社会福祉法人湧水会 さくらんぼ保育園 社会福祉法人芳野福祉会 ことりの家保育園 社会福祉法人柳翔会 出水南保育園 社会福祉法人緑翠会 緑川保育園 社会福祉法人緑風会 玉名くすのき保育園 社会福祉法人緑風会 ぬかみね保育園 社会福祉法人わかき福祉会 不知火保育園 社会福祉法人若葉福祉会 若葉幼愛園 社会福祉法人和聖福祉会 みらい保育園 龍山学苑 独立行政法人国立病院機構熊本再春医療セ ンター「めだか保育園」 南小国町役場 (南小国町立黒川保育園/正規採用) 有限会社 IQ キッズ 有限会社幼光園 幼光学園幼光園</p>
--	--	--

学生会から

〈九品寺キャンパス〉

学生会を経験して

学んだこと

学生会会長

生活科学部 栄養科学科

池田萌依子



尚綱大学・尚綱大学短期大学部学生会活動の目的は、学生相互の協力的活動により、学生生活全般の向上をはかり、本学発展に寄与することです。その中で、新入生歓迎会、尚綱祭や、スポーツ大会と3回の大きなイベントは、その企画から運営まで学生会の大きな仕事です。

私はその学生会で会長を務めさせて頂きました。2年生から学生会に入りましたが、前会長からの指示やアドバイスを受けながら仕事を進めました。昨年の学園祭がコロナ禍を挟んだこともあり、盛り上がりが少

し足りないように感じました。そこで、来年は私が会長になって盛り上げようと思い、会長に立候補しました。会長がどの様な仕事をするのかもきちんと把握せずに会長になり、最初の頃はわからないことばかりでとても戸惑うことが多かったのですが、その時に前会長が親身になって相談や質問に答えてくださりとても心強かったです。

尚綱祭の準備は夏休み前から少しずつ始め、後期が始まると本格的に動き出し、勉強との両立が難しいこともありました。また、一般の方々も楽しめるステージ発表の案や各クラスの出店状況の把握、ミスコンテストの出場者の確保など、仕事の量が多く、少しきついと思うことが増えました。学園祭の準備を進めている際にはトラブルがいくつか起き、計画通りに進まないことに苛立ちを覚えることもあり、何回も「全てを投げ出したい」と思いました。その度に、一緒に学生会に入った友人からのサポートや励ましのおかげで仕

事を進めることができました。

尚綱祭の準備日には、大人数を効率よく動かす難しさを身をもって実感しました。尚綱祭当日は、去年より来場人数も多く盛り上がっており、あの時投げ出さずに頑張ったよかったですと心の底から思いました。

たくさんトラブルや辛いことがありましたが、尚綱祭が終わった後の気持ちは、本当に会長についてよかったなと思いました。クラスの人や先生方からも「お疲れ様」と言ってもらえて嬉しかったです。

社会に出る前にこの様な経験をさせてもらったことを誇りに思います。私一人の力では尚綱祭を成功させることは、到底無理だったと思います。その時に支えてくれた執行部の役員や先生方、学生支援課の方々に心から御礼を申し上げます。



〈武蔵ヶ丘キャンパス〉

学生会役員を

経験



学生会会長

岩崎 百花

私が学生会会長に立候補した大きな理由は、学生会役員として活躍してきている仲間が輝ける場所を作りたいからです。一年を通して武蔵ヶ丘キャンパスでは様々な行事が開催されます。学業と両立しながらの活動は大変で、1年次では先輩方についていくことに精一杯でした。しかし、一年生の私でも大学のためにできることがあることに気づいたり、尚綱祭を経験して学生会役員も行事を十分に楽しめたりできるようにしたいと思うようになりました。

実際に学生会会長を経験して思ったことは、誰かのために前に立ち導くこ

とは、とてもやりがいのあることだと思います。今まで学生会などに参加したことがなく、不慣れなことは多かったです。しかし、仲間たちは私を信じてついてきてくれたため、感謝してもしきれません。特に同じ学年の役員の子達は私を学生会会長として接するのではなく、企画を運営し、実行するチームの一員として接してくれました。私はそのことがとてもうれしいです。なぜなら、安心して自分の考えを述べたり、主体的になって活動できたりする関係性や環境が整っていたということだからです。これこそが、私が目指す学生会の在り方そのものです。

一番の思い出は、今年度の尚綱祭です。何か月も前から企画し、実習をはさみながらも自分らが納得する尚綱祭を準備してきました。尚綱祭実行委員長をはじめとする、多くの部署が知恵を振り絞る姿をみて、「もっと自分にもできることがある。」「彼女たちが思い思いに活動できる

には何が必要なのだろう。」と強く鼓舞されました。本当に感謝しありません。また、数多くの先生方に支えられて今までの学生会活動を続けることが出来ました。アドバイスはもちろん、厳しい指摘もありましたが、どれも私たち学生会を思つての言葉でとても有難かったです。

最後になりましたが、頼りない学生会会長だったにもかかわらず、ついてきてくださった先生方と学生会役員の皆さんに厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



学外実習から

校外学習を終えて

食物栄養学科 二年

木庭 桃子

令和六年六月十七日から六月二十一日までの五日間、熊本大学教育学部附属小学校で実習を行いました。五日間という短い間でしたが、学校で働く栄養教諭の仕事を経験し、多くの学びを得ることができました。

実習の中で特に印象に残っていることは、小学一年生を対象に行った食に関する指導です。その日の給食の献立に合わせて指導内容を考え、沖縄の郷土料理が提供された日は「沖縄について」、いわしが献立に使われていた日は「いわしについて」をテーマに指導しました。一年生ということでは理解しやすい内容にすることはもちろん、話し方や媒体の作り方など、子どもたちにしつかりと伝わるように意識して準備や指導を行うことの重要性を学びました。大学の授業でも食に関する指導を練習しましたが、実際に子どもたちを対象に行ってみると様々な気づきがあり、大学で学んだ知識や技術を実践へと繋げる良い機会になりました。

また、栄養教諭の業務の幅広さと奥深さについて学びました。「食に関する指導」と「学校給食の管理」の両方の業務を担う大変さを

感じた一方で、子どもたちから「おいしかった!」と感想をもらえることがやりに繋がることも分かりました。子どもたちに美味しく栄養満点の給食を食べてもらうために、調理員の方々と密にコミュニケーションをとり、味付けやメニューなど日々工夫されている姿を拝見し、私が食べてきた給食にはこのような様々な方の努力があったことを知り、感動しました。他の教職員の先生方とも連携・協力されており、コミュニケーション能力が必要であると感じました。今回の学校実習では、机上で学べない貴重な体験ができ、実り多き実習となりました。栄養士業務の幅広さと奥深さを知るとともに、栄養士の仕事にやりがいを感じ、栄養士を目指す気持ちがより一層強くなりました。実習を受け入れてくださった先生方、送り出してくださった先生方に心より感謝申し上げます。

インターンシップに参加して

総合生活学科 一年

城 樹里

私は今年の夏季休暇中に新産住拓株式会社様、Honda Cars 熊本大江店様のインターンシップに

参加しました。新産住拓さんは、熊本の土地にあった家を提供し、お客様の笑顔をみるため日々尽力されています。Honda Cars 熊本さんは、自社で製造した四輪車を販売し、お客様が快適にカーライフを過ごせるよう日々工夫されている会社です。

まず、新産住拓さんのインターンシップに3日間参加しました。1日目はアフター課で実際に建てられた家の点検や工事様子を見学しました。2、3日目は住宅展示場で営業の仕事の見学や管理者の方のお手伝いをさせていただきました。その中でお客様に直接話を聞く機会があり、どうして新産住拓に決めたのか、こだわった部分はあるかなどを聞いてみました。すると、お客様は皆口を揃えて、木の香りがよいから、暖かみを感じられる家がいいから、と会社がこだわっている木について話しておられました。このような経験から、自分がこだわって頑張ったことは相手に必ず伝わることを実感することができました。さらに、社員の方が自社の製品に自信をもっておられることも、消費者の方に長く愛される秘訣だと感じることができました。

次にHonda Cars 熊本さんで2日間受付事務を体験しました。店を開ける前に掃除やお菓子の補充をし、お客様が快適に時間を過ごせる環境づくりをしました。その後、お客様に挨拶したり、店内のポップを作ったり、特設コーナーの改善案を提案したりしました。2日目に

はパンフレットをきれいに並べたり、店を訪れたお客様を誘導したりと、自主的に何ができるか考え、行動することができました。

改善案の提案では、参加したボランティアの経験を活かし、自分の意見を伝えることができました。

インタビューを通して、社員の方やお客様と実際にふれあい、話すことができたのは私にとって大変よい体験だったと思っています。また、初めて会う方と話すことができる、子どもと遊ぶことができる、自分で考え行動できる等のが自分の強みだと認識することができたことも、有意義だったと考えています。また、営業の方の仕事を拝見することができたのも、大変貴重な経験でした。お客様一人一人に対し話題を変えたり、説明の際にそのお客様のニーズにあったことを説明したり、お客様と真摯に向き合うお姿は、私も是非見習いたいと思いました。

今回の経験をもちに、これからも興味があることには何にでも挑戦し、有意義な短大生活を送りたいと考えています。新産住拓さん、HondaCar 熊本さんにはこの場をかりて、深くお礼を申し上げます。

子どもに寄り添える

保育士に

幼児教育学科

星子 愛美

私は、保育園の時に出会った保育者がきっかけで保育士を志しました。その保育者は、

私が年長児の頃の担任の先生であり、いつも先生の周りには子どもたちが集まっていた、一緒に遊びを楽しみ、保育園に行く不安な気持ちを楽しさにかえてくださり、一人ひとりの気持ちを理解して関わってくださいました。子どもたちへの関わりだけでなく保護者への対応も丁寧で、私の両親も先生に話すことで心が軽くなって子育てを行うことができていたそうです。小さい頃の経験がここまで鮮明に残っている程、私自身も保護者自身も助けられ、先生の愛情を幼いなりに感じていました。その先生が私の憧れの先生になり、私も「その先生が私の憧れたい」と思い、保育者を目指すきっかけとなりました。

そこで、ピアノ個室等施設が充実しており、保育者としての人間性や高い実践力を身に付けることができると思い、県内でも多くの保育者を輩出している尚綱大学短期大学部幼児教育学科への入学を決意しました。幼児教育学科での生活では、同じ保育者を志す仲間と一緒に日々勉強や実習に励みながら多くの出会いを経験させていただきました。また、2年間同じクラスのため友達をたくさん作ることもでき、充実した学校生活を送ることができたと思っています。大学の講義や実習を行う中で自分自身、保育者に向いていないのではないかと感じたこともありました。保育者になりたい気持ちが増るきっかけになりました。普段の授業では、講義や演習を通して実践的知識を身に付けたり、今起きている保育や子どもに関する問題、事例について考えたり、保育をする上で大切なことについて学びを得ることができました。また、ピアノ初心者だった私も2年間で多くの曲を習得することができました。実習では大人の施設も経験させていただき、視野を広げることができました。また、保育は日々ねらいを立てて、

クラスの実態を踏まえた内容を計画することが大切であり、保育者の援助・配慮は子ども理解が必要だと気づかされました。子どもと関わることは難しい面もありますが、意図をもって関わることで子どもとの関わりも充実してくると学ぶことができました。

子どもたちが初めて家庭の外で生活する場が保育園や幼稚園であり、保育者が子どもたちに与える影響はとても大きいと感じます。保育者の関わりや園での経験、学びが子どもたちの育ちや将来を形成する上で大事であり、子育てに悩みを抱える保護者の一番の拠り所になると考えています。また、小さい頃の経験や出会いが鮮明に残り、私のように保育園の時の先生との出会いがきっかけで保育者を目指す人も少なくないと思います。保育者がこれからもっと増えていくためにも、保育者を目指すきっかけを与えてくださった先生を自分自身の目指す理想の保育者像として、子どもたちや保護者・家庭にも必要な保育や支援が届けられるように、ここ幼児教育学科での学びや学外実習での学びを大切にしながら一人の保育者として頑張っていきたいです。そして、自然と子どもたちが集まってくることで、「先生がきっかけで保育士を志した」と言われるような保育者になれたらこの上ない喜びだと感じています。そのためにも、まず一年目、子どもとの関わりを大切に日々精進していきたいと思います。



尚綱大学短期大学部 同窓会規約

第一章 名称及び事務所

第一条 本会は尚綱大学短期大学部同窓会と称する。

第二条 本会は事務所を熊本市中央区九品寺二丁目六番七十八号尚綱学園内に置く。

第二章 目的及び事業

第三条 本会は会員相互の親睦を深めると共に母校の発展の為につくすことを以て目的とする。

第四条 本会は前条の目的を達するために左記の事業を行う。

- 一、会誌の発行
- 二、講演会・研修会の開催
- 三、その他必要と認める事業

第三章 役員

第五条 一、正会員 熊本女子短期大学及び尚綱短期大学、尚綱大学短期大学部を卒業した者。

但し、当大学に一年以上在学し、且つ、役員の承認を得た者。

二、準会員 尚綱大学短期大学部在学学生で、短期大学部同窓会費を納付した者。

第四章 役職員

第六条 本会は左記の役員を置く。

一、役員

会長 一名

副会長 計三名

科長 計三〜四名

書記 計二名

会計 計三名

事務 計三〜四名

編集及びホームページ 六名

文化 二名

会計監査（前会長） 一名

顧問（元会長） 一名

名誉会長（元会長） 一名

二、学年役員

卒業年次ごとに各クラスに一名置く。

三、会計監査

会員の中から会長が委嘱した者。

第七条 会長は総ての会合を主宰し本会を代表する。

第八条 副会長は会長を補佐し、会長に事故有る時はその代理をする。

第九条 科長は科を代表する。

第十条 書記は議事の収録を行う。

第十一条 会計は会計事務を司る。

第十二条 事務は庶務に従事する。

第十三条 編集は会誌その他の編集とホームページの管理を行う。

第十四条 文化は作品展示会を運営する。

第十五条 科委員は科長の依頼事項を行う。

第十六条 監査は本部会計の監査を行う。

第十七条 顧問は本会の会務の諮問に答えるものとする。

第十八条 役員の任期は二年とし、再任を妨げない。但し会長にあっては三期までとする。

第五章 会議

第十九条 会議は総会、本部役員会とする。

第二十条 総会は年に一回開催し、左記の事項を行い、且つ会員の親睦を計る。

- 一、年次報告
- 二、年次報告は会誌及びホームページをもって行う。
- 三、その他必要と認める事項

第二十一条 役員会は、役員の三分の二以上の出席によって成立し、左記の事項を審議する。議事は出席者の過半数をもって決定する。

- 一、規約の改正
- 二、入会費の決定
- 三、年会費の決定
- 四、予算の決議、決算の承認
- 五、その他必要と認める事項

第六章 会費

第二十二条 本会の入会費一万円は入学時に納入する。一旦納入した入会費は返戻しない。

第二十三条 年会費は二千円とする。

第二十四条 本会の運営費は入会費と年会費をもって充てる。

第二十五条 本会の会計は、四月一日から始まり翌年三月三十一日に終わる。

本会の収支予算は役員会（会計監査員は除く）で決議し、その決算は年度末から一ヶ月以内に監査員の監査を受け、役員会（会計監査員は除く）の承認を受け、且つ、総会の承認を得なければならない。

付 則

本会規約は昭和四十九年四月一月から施行する。

本会規約は平成十九年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十一年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十二年四月一日から施行する。

本会規約は平成二十五年五月二十二日から施行する。

（花桜会云短大要云より尚綱大学短期大学部同窓会に名称変更）

本会規約は令和元年七月一日から施行する。

本会規約は令和六年七月一日から施行する。

令和5年度収支決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 収入

※△は収入予算に対しての減額 (単位：円)

科 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	増減額	摘 要
令和4年度繰越金	2,449,208	2,449,208	0	
令和5年度入会金	2,700,000	2,130,000	△570,000	213名×10,000円
利 息	10	17	7	普通預金上期下期利息
年 会 費	750,000	794,000	44,000	家(201名) 食(65名) 幼(66名) 計332名&寄付
雑 収 入	0	14,950	14,950	ホームカミングデイ補助金
合計	5,899,218	5,388,175	△511,043	

2 支出

※△は支出予算に対しての超過額

科 目	令和5年度予算額	令和5年度決算額	増減額	摘 要
会 議 費	100,000	10,000	90,000	
総会費	50,000	10,000	40,000	
文化活動費	50,000	0	50,000	
事 業 費	2,640,000	2,636,107	3,893	
会誌作成費	1,350,000	1,264,522	85,478	「花さくら」会誌34号(4500冊)、窓付き封筒(4090)
会誌発送費	480,000	788,794	△308,794	会誌33号クロネコ、34号ゆうメール送料(前払)
事務費	50,000	7,557	42,443	証書ホルダー
記念品代	400,000	308,880	91,120	学生へふくさ234個(ネーム入り)
催事費	200,000	186,354	13,646	ホームカミングデイ案内送付、接待、記念品等
学生支援	60,000	60,000	0	学生支援
研修費	100,000	20,000	80,000	公開講座受講料
管 理 費	2,659,218	1,329,219	1,329,999	
役員活動費	550,000	495,565	54,435	役員手当
交通費	150,000	226,080	△76,080	役員交通費
消耗費	100,000	30,400	69,600	のし袋、インク、定例会お茶代、掃除用具、紙コップ
通信費	450,000	358,076	91,924	ドコモ携帯、振込手数料、現金書留、HP相談
光熱水費	24,000	24,000	0	学園へ支払い
渉外費	140,000	102,478	37,522	中元歳暮、祝花代、学食寄付金、御花
備品代	1,000,000	0	1,000,000	
慶弔費	30,000	0	30,000	香典、生花
雑費	15,218	0	15,218	
予備費	200,000	92,620	107,380	
事業積立金	500,000	0	500,000	
合 計	5,899,218	3,975,326	1,923,892	

3 収支決算

区 分	収入決算額	支出決算額	決算残額 (次年度繰越金)	事業積立金 (定期預金)	普通預金	現 金	合 計
金 額	5,388,175	3,975,326	1,412,849	15,213,446	1,412,849	0	16,626,295

令和6年度 尚絢大学短期大学部 同窓会 役員名簿

役 職	家 政 科		食 物 栄 養 科		幼 児 教 育 科	
	氏 名	卒年(回)	氏 名	卒年(回)	氏 名	卒年(回)
会 長	沼 垣 邦 子	44(16)				
副 会 長	森 千 鶴 子	39(11)	森 浩 子	53(10)	錦 戸 益 美	49(5)
科 長	永 田 桃 江	43(15)	金 澤 恵 子	53(10)	小 西 眞 理 子	49(5)
	林 生 美	43(15)				
会 計	坂 口 啓 子	43(15)	○志 内 久 美	44(1)		
	坂 田 優 子	48(20)				
書 記			○高 野 いく 子	44(1)	穴 井 雅 子	49(5)
事 務	○蓮 尾 美 保	39(11)	中 川 せい 子	59(16)	野 村 澄 子	51(7)
	齊 藤 徳 子	50(22)				
編 集	中 原 福 子	44(16)	荒 牧 裕 子	45(2)	○矢 島 美 穂	49(5)
	橘 薫	45(17)				
H P					土 屋 薫	52(8)
					原 田 明 美	61(17)

○印は長

科委員	家 政 科	下 田 照 美	41(13)	伊 藤 ミ 工	42(14)	井 誠 子	40(12)
	食 物 栄 養 科	井 上 さ と み	55(12)	土 山 睦 子	55(12)	吉 津 美 弥 子	55(12)
		友 枝 博 子	56(13)	原 田 貴 美 子	51(8)		
幼 児 教 育 科	吉 村 恵 利 子	49(5)	青 柳 葉 子	49(5)	坂 本 柳 子	49(5)	

名 誉 会 長	多 久 慶 子	家29(1)	名 誉 会 長	下 川 富 士 子	家32(4)
顧 問	寺 崎 邦 子	食44(1)	監 査	森 下 ひ ろ 子	幼49(5)

～令和6年度卒業生の役員さんが決まりました～ クラス役員名簿

学 科	1 組	2 組	3 組
総合生活学科	高 木 珠 蓮		
食物栄養学科	家 入 叶 衣	今 村 陽 向	
幼児教育学科	古 場 咲 希	古 川 莉 紗	後 藤 優 佳